

キーワード

Y3

装置・設備

Z1

固形燃料

E25

はん用機械器具製造業

川崎重工業株式会社

セメントキルンを利用したごみ処理システム (Waste Treatment System Using Cement Kiln)

特徴

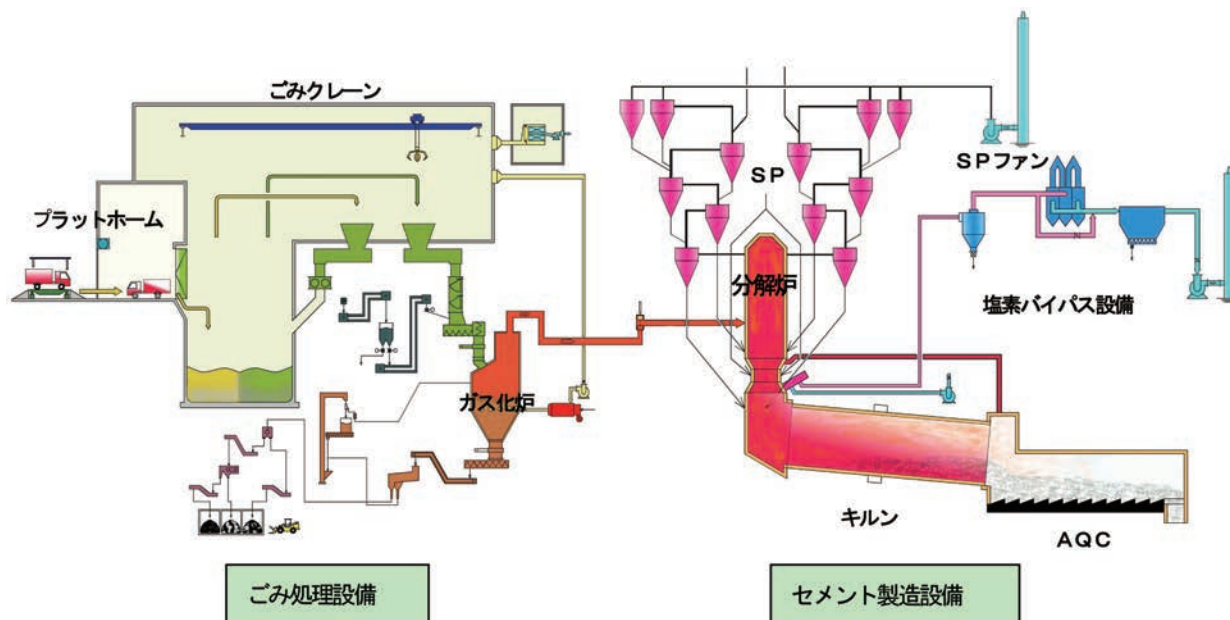
- ◆ ごみ処理技術とセメント技術を融合
- ◆ セメントプラントを活用し、ごみ処理施設の建設費を大幅に抑制
- ◆ ごみをセメント製造の燃料と原料に有効利用



セメントキルンを利用したごみ処理システム (中国 銅陵海螺水泥有限公司)

概要 or 原理

- ◆ セメントプラントに隣接してごみ処理施設 (ごみピット、ガス化炉) を設置
- ◆ ごみ処理施設で発生した熱分解ガス、チャー、飛灰を分離しないで、セメントキルンに投入



省エネ効果 & 特記事項

- ◆ 自社開発技術。
- ◆ ごみ中の鉄分や不燃分をガス化炉で分離・除去するため、セメント品質への悪影響を防止することが可能。
- ◆ ごみの保有エネルギーを有効利用することにより、セメント焼成のための燃料費を数%低減することが可能。
- ◆ ごみと汚泥を混焼することが可能な「セメントプラントを活用したゼロエミッション都市ごみ、水処理統合システム（Zeetシステム、Zero Emission Eco-Town System）」についても、開発完了。

導入実績または予定

- | | |
|----|---|
| 国内 | ◆ 実績なし |
| 海外 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 安徽海螺建材設計研究院、安徽海螺川崎工程有限公司、安徽海螺川崎節能設備製造有限公司との共同研究で、銅陵海螺水泥有限公司に実証試験設備（300t/d）を設置した。2010年3月より実際のごみによる実証試験を行い、所定の性能を達成できることを確認した。本設備は実証試験終了後も順調に稼働しており、1年間に8万～9万トンのごみを処理している。 ◆ 2011年度に貴州省貴定県より、200t/d×1炉の設備を受注した。本設備は2012年11月よりごみ処理を開始し、現在も安定した運転を継続中である。 ◆ 2012年度以降、貴州省遵義市向け（400t/d×2炉）をはじめとする複数の設備を中国国内で受注し、2019年9月現在、合計25設備が稼働中で、1設備が建設中である。 |

<p>コンタクト先</p>	<p>川崎重工業株式会社 エネルギー・環境プラントカンパニー 営業本部 プラント営業推進室 電話番号：03-3435-6620 Fax番号：03-3435-6601 HP：http://www.khi.co.jp/kplant/</p>
---------------	---